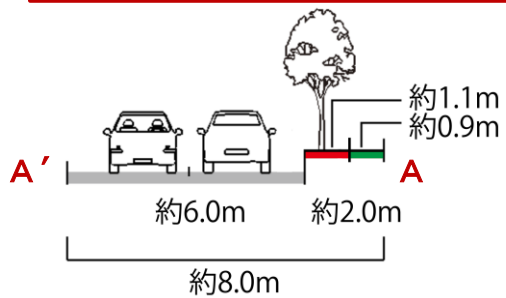


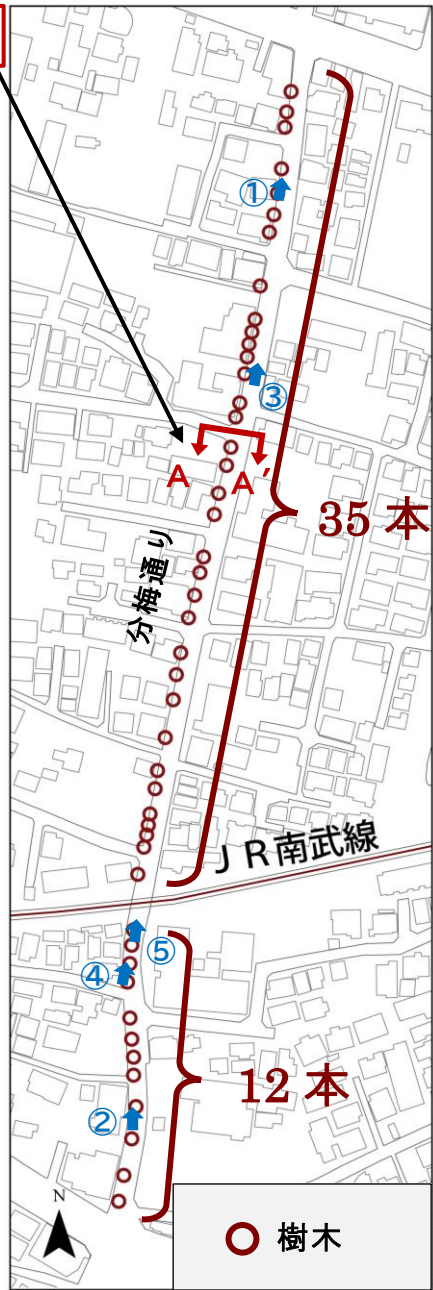
分梅通りの改良について

【現況と課題】

分梅通りの現況断面図



分梅通り西側の約 2.0mの片側歩道においては、**街路樹**（主にイチヨウ）により、福祉のまちづくり条例（東京都及び府中市）で定める 1.5m以上の有効幅員を満たすことができていない。



街路樹により、歩道舗装が一部**根上がり**していることで段差が生じており、同条例（東京都及び府中市）で定める平坦性の確保ができていない。

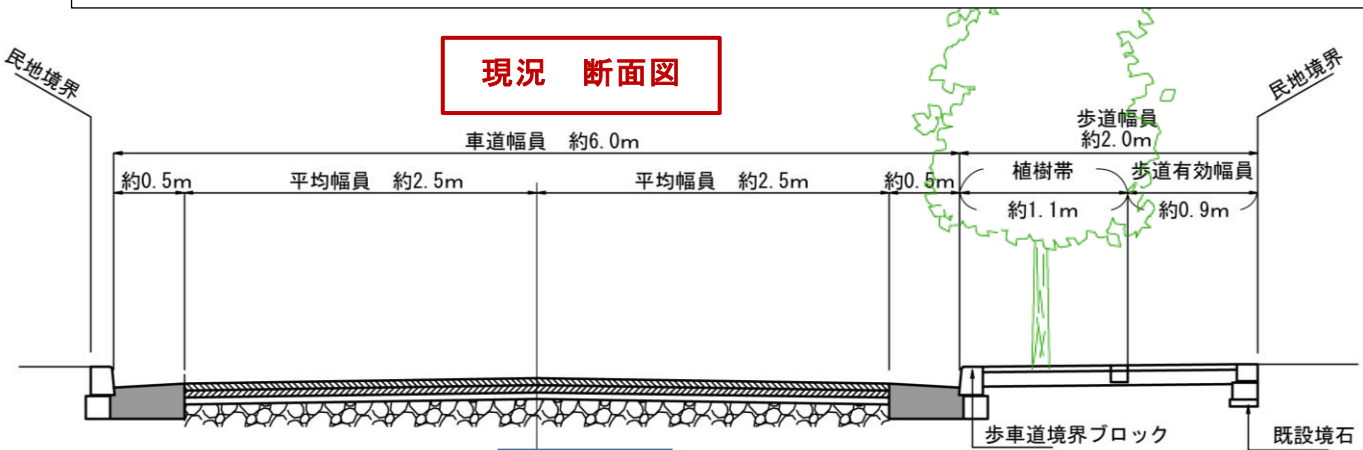


JR 南武線踏切前後の車道に**わだち掘れ**が生じている。

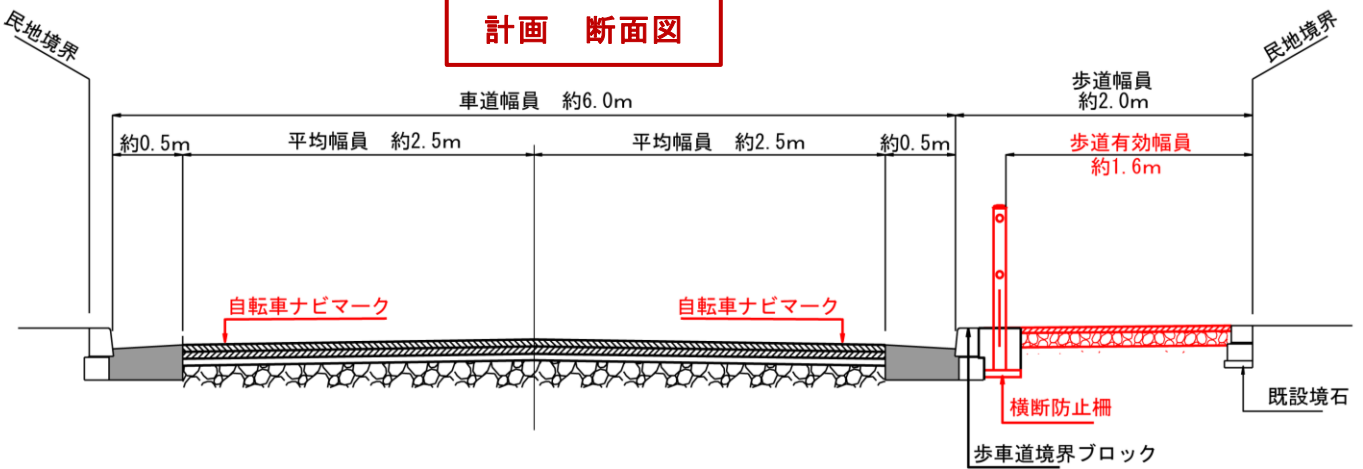
【整備方針】

歩道の有効幅員の確保については、街路樹の伐採を行うことで、条例の基準値以上となる 1.5m以上の幅員を確保し、平坦性の確保については、舗装の再敷設を行うことで樹木の根上りを解消し、併せて植栽ますの撤去を行うことで、歩道の段差解消を行う。
また、安全な歩行者空間を確保するため横断防止柵を設置し、車道に自転車ナビマークを標示する。JR 南武線踏切前後の車道に生じているわだち掘れについては、車道舗装の打ち換えを行う。

現況 断面図



計画 断面図



整備後のイメージ

事業スケジュール

R2年度

- ・現況測量
- ・概略設計

・道路の現況を測量し、線形や構造を設計
・改良案（樹木撤去、横断防止柵設置等）

R3年度

- ・詳細設計
- ・関係機関協議

・工事用の図面作成や数量計算
・NTT や東京電力等との協議

R4年度

- ・工事

・街路樹（47本）・植栽ますの撤去
・歩道舗装の打ち換え
・車道舗装の打ち換え（一部）
・横断防止柵の設置
・自転車ナビマークの標示



▲横断防止柵（競馬場正門通り）



▲自転車ナビマーク（府中街道）